

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築					
市町村名	安曇野市		ふりがな箇所名	(主) 塩尻駒割穂高線		からすがわきた	馬川北	事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H23年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=250m W=6.0(9.5)m					H22年度末事業進捗率		0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース		0%				
	H23年度実施内容	道路拡幅工 L=250m W=6.0(9.5)m					用地補償費ベース		0%				
	事業費計(千円)	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残			
	財源内訳	国庫支出金	12,000		0		0		12,000		12,000		
	その他												
	県債	10,800		0		0		10,800		10,800			
	一般財源	1,200		0		0		1,200		1,200			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部		政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上			1,500台以上～4,000台/日未満		1,500台未満		A	4	A	4
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある					0		0
		ネットワーク (道路網)	バス路線である			駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		A及びBに該当しない			5		5
			ボトルネック箇所			ボトルネック箇所でない					0		0
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない					2		2
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)			4.0m以上5.5m未満(幅員)		5.5m以上(幅員)			0		0
		他事業との関連	歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し			4		4
			河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施								10		10
	小計									25	25		
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い			環境配慮がされているが確実性が低い		環境配慮をしていない		B	3	B	3
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)			緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)		特別な位置づけはない			3		3
		小計									6		6
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		B	5	B	5
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内			事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上			8		8
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない			0		0
	小計									13	13		
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	10	A	10
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に係らない道路			6		6
		小計									16		16
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない		B	3	B	3
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3		3
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4		4
		小計									10		10
費用対効果(B/C)		3.9			評価の合計				B	70	B	70	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区:21年7月開園)へのアクセス道路であるとともに、松本地区と大北地域を連絡する主要ルート(通称:「山麓線」)として重要な地域交通網に位置づけられている。また、平成23年度には、同公園(堀金・穂高地区)の整備事業の一環として北入口工事に着手する。											
	地域からの要望経緯	平成21年には国営アルプスあづみの公園から道路整備(付加車線及び歩道整備)の要望が出されている。											
	事業説明等の経緯	事業主体となる国土交通省の公園事業において平成23年1月15日に役員の方へ説明し、同年3月1日に地元説明会を実施し計画についての了解を頂いている。											
	環境・景観への配慮項目	法留が必要な範囲において、緑化等を活用した工法に積極的に採用する予定である。											
	他事業・プロジェクトとの関連	国営アルプスあづみの公園事業と連携して事業を実施する。県単道路改築事業(塚原工区)による交差点改良事業との調整をはかる。											
特記事項	地元説明において出された意見について、安曇野市と調整を図りながら計画に反映していきたい。												
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他				
部意見	国土交通省が実施する国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)北入口の周辺整備と調整を図りながら、長野県が負担する施工範囲を効率的に履行する必要があるためH23年度より事業化したい。				政策評価課		意見		必要性、緊急性が認められる。				